

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	平成30年4月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市地域コミュニティ協議会運営助成金 地域コミュニティの活性化と分権型協働都市の実現のため、地域コミュニティ協議会の運営に要する経費の一部を助成する。【基本50万円（2つ以上の小学校を単位として構成する協議会は70万円）】【規模加算20万円（2千世帯未満）、40万円（4千世帯未満）、60万円（4千世帯以上）】							
款・項・目	総務費・総務管理費・区政推進費							
所属等	秋葉区役所 地域総務課 企画・地域振興グループ						電話 0250-25-5670	

年 度		平成30年度（1年目）	令和元年度（2年目）	令和2年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	9,500	9,500	9,500
	決算(千円)	9,408	9,416	9,500
補助率		10/10	10/10	10/10
目 標		地域コミュニティ協議会の安定した運営を図り、地域と行政が協働してまちづくりに取り組む環境を整備する。（秋葉区内11協議会） <目標が数値でない場合の評価方法> ・自主的・主体的に地域課題が解決されているか。 ・コミュニティ活動の推進が図られているか。		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	秋葉区内11の地域コミュニティ協議会から活用していただいた。 地域コミュニティ協議会の運営が安定することにより、自主的・主体的に地域課題が解決され、コミュニティ活動の推進が図られている。	秋葉区内11の地域コミュニティ協議会から活用していただいた。 地域コミュニティ協議会の運営が安定することにより、自主的・主体的に地域課題が解決され、コミュニティ活動の推進が図られている。	秋葉区内11の地域コミュニティ協議会から活用していただいた。 地域コミュニティ協議会の運営が安定することにより、自主的・主体的に地域課題が解決され、コミュニティ活動の推進が図られている。
補助事業者による情報の公表		総会資料、予算書、決算書等		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 地域コミュニティ協議会は自治会等からの会費以外の収入を得ることが困難であり、財政基盤が弱い団体である。補助率が高いことはやむを得ない面があるが、今後とも事業内容の適正性や有効性には注意を払っていく。				
	<g～hにおける取組> 地域における多種多様の活動を行う、地域コミュニティ協議会の運営助成であるため、目標の数値化にはそぐわない。今後も、地域コミュニティ協議会の安定した運営の確保を図っていく。				
目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 平成30年度の「地域コミュニティ協議会への支援に関する評価会議」において、本補助金の今後の方向性について、現状維持と評価された。このことを踏まえつつ、地域独自の課題解決につながるよう、自立に向けた側面的支援を考慮しながら制度検討を行っていく。					